

サークル FIELLE



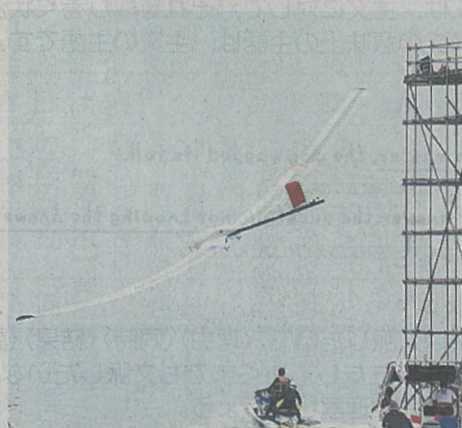
機体を組み立てるメンバー

「鳥人間コン」再出場狙う

広島工業大(広島市佐伯区)の人力飛行機部は、学生自ら機体の設計、製作をし、毎年

7月下旬に琵琶湖(滋賀県彦根市)で開催される「鳥人間

コンテスト」で初出場を果



鳥人間コンテストで琵琶湖の空を舞った機体(2017年7月)

てはなりません。毎年100件を超える応募から少数チームしか選出されない審査が厳しい大会です。

03年に初めて応募してから13年間、書類審査を通過できませんでしたが、毎年、機体の改良や翼の骨部分の工作精度の向上などに取り組みとともに、他大学との情報交換などをし

「コンテスト」への出場を目指して活動しています。

たしました。皆の夢と思いを載せた機体が琵琶湖の夏空を舞いました。

2000年に「琵琶湖のプラットホームに立ちたい」という学生と教員の思いから発足しました。コンテストは書類審査で安全性と性能はもちろん、丈夫さや安定性などを立証しなく

現在の部員は12人。出場経験を基に、機体の軽量化や精度の高い翼部分の加工など改善点を明確にし、2度目の出場に向け挑戦を続けています。

部長の知能機械工学科

3年・小田寛朗さん(21)

役職や分担など製作に必要な環境を整えながら機体の設計研究や試験をしています。それぞれ担当する視点で意見を出し合い、より性能の良い機体を設計しています。2度目となる今年の出場、そして前回の飛行記録(22.08秒)の更新を目指しています。

